

若年者ものづくり競技大会「建築大工」職種 Q&A

Q 1. 登りばりに開ける「鼻せん」用のほぞ穴は、入り勝手と出勝手の両方とも
15mm×15mm でしょうか？
(鼻せんが長い台形なので、登りばりの仕口部分にヒビが入らないか気になります。)

A 鼻せんは締まり勝手となるように、多少のテープをつけるのが一般的です。鼻せんの材料は断面 16×18 のものを支給しますので、成は 15mm とし、幅は 15mm 前後で適時テープをつけ、穴のサイズもそれに合わせて選手の方で決めて構いません。

Q 2. 垂木の釘打ちは、打掛けでよいでしょうか？ それとも、打ち止め(打込み)でしょうか？

A たる木の釘打ちは、打ち止め(打込み)で結構です。

Q 3. 削り台は、作業台としても使用してよろしいのでしょうか？

A 削り台は作業台として使っても差し支えありません。

Q 4. かんなによる面取り仕上げは、木口部分だけでよろしいのでしょうか？
それとも、全ての部分について面取りは必要でしょうか？

A 接合部を除き、部材は糸面で面取りしてください。

Q 5. 競技中の水分補給はよろしいのでしょうか？(ペットボトルのお茶等)

A 競技中の水分補給については、大会主催者からペットボトルの水が配布されますが、
そのほかにペットボトルのお茶等を持ち込んで水分補給をすることは差し支えありません。

Q 6. 競技課題の 7、「会場に準備されているもの」についての質問です。削り台
1200×105×105 と削り台止め 900×45×18 程度となっていますが、削り台に台止め材の
一部を切って削り台尻の止めとして使用し、残りを削り台の横に付けて、材料の固定用
にしてよいのでしょうか？

また、その場合、クギなどは持ち込んでいいのでしょうか？予備のクギ 2 本をそれに
使用するのでしょうか？2 本では足りないので、不足分は持ち込んでいいのでしょうか？

A 削り台そのものを切断したり、加工することはできませんが、作業台や削り台止めに
ついては、自由に切断、加工等ができます。削り台の横に付けて、材料の固定用に使う
ことも差し支えありません。予備の釘は持ち込んでも差し支えありません。